

かとう あきひろ 03.加藤 晃裕さん

就業のきっかけ

私の場合、北海道への移住が林業を知るきっかけになりました。もともと大阪出身で東京の会社に就職し、サラリーマンとして働いていましたが、満員電車で通勤し仕事に追われる毎日に「何かが違う」と感じ北海道への移住を決意しました。北海道の知人から住みやすく環境も良いと薦められた胆振管内を実際に訪れ、ほどよい田舎感に惹かれた豊浦町を移住先に決めました。

移住後、ハローワークで仕事探しをしましたが、他の職種より給料が良かったので林業を選びました。都会暮らしだと大学を出てサラリーマンになることが当たり前になっていて、私のように林業を知らない人も多く、仕事の選択肢にもともと林業が入っていないことは残念に思います。都会の人でも林業を知るきっかけがあれば、山で働いてみたいと思う人も増えるのではないのでしょうか。

仕事のやりがい

自分が造林した山で再び仕事をする時、造林した木の成長を間近に見ることができるので、木を育てる仕事をしていると実感します。地拵えでは、地形が複雑な場所もあり、地形に合わせどのように施肥したら良いか頭を使って考えながら進めていくところも面白いです。林業はやりがいがあって素晴らしい仕事ですし、自然の中で身体を動かしながら働けるところが自分にも合っていると感じています。

四季や、生き物の息吹を感じながら働けるところも魅力です。

【苗を1本ずつクワで植える】



仕事の大変なところ

寒さは厚着をすれば大丈夫ですが、真夏の下刈りはきつく、気温35℃の本州にいるよりも、30℃の山で身体を動かす作業の方が体力を消耗します。

難しいところは、天然広葉樹の樹種の判別です。冬場に間伐を行うため葉っぱも無く、樹皮と樹形だけで何の木か判断しなければならぬのですが、似たような木もあるため見分けられず悩む時もあり、社長に教わりながら日々勉強中です。



株式会社佐々木林業 〒049-5333 虹田郡豊浦町字礼文華433-3
造林・保育、造材事業

年齢 34歳
勤続年数 4年

仕事内容

造林事業全般を担当しているので造林、下刈り、地拵え、間伐など全て行います。伐倒作業はチェーンソーを使っています。

【植えたら最後に根元を踏み固定する】



胆振の魅力

アクセスが良く、道南方面（函館）や新千歳空港、札幌方面へも行きやすいので便利です。気候もちょうど良く、暑さ、寒さもほどほどで、雪もそんなに積もらないので雪かきも楽です。

また空気、水、食べ物が美味しく、本州では野菜が苦手だった私も北海道の野菜は美味しいので食べられるようになりました。特にキャベツは青臭さが無く、甘くて美味しいです。

林業に興味を持っている方へメッセージ

林業と聞くと伐採のイメージが強いと思いますが、造林、下刈りなど木を育てていく保育作業もあり、森林資源は循環していくように育てられています。造林した木が成長していく過程も実感できやりがいのある仕事なので、林業に興味がある方はぜひ一度、実際に仕事現場を見学して一連の流れを知ってほしいと思います。

都会暮らしの経験しかなくても、自家用車があれば田舎での生活も大丈夫です。私は北海道に移住し、林業に従事してから自分の時間が増え、それを趣味や家族と過ごす時間に使い充実した毎日を送っています。